

旧板橋第三小学校跡地活用について

旧板橋第三小学校の跡地活用については、平成 14 年 3 月の閉校以来、旧校舎を改修して用途転用し、いたばしBOROニャ子ども絵本館、公文書館、いたばし総合ボランティアセンター等として暫定利用しているところである。

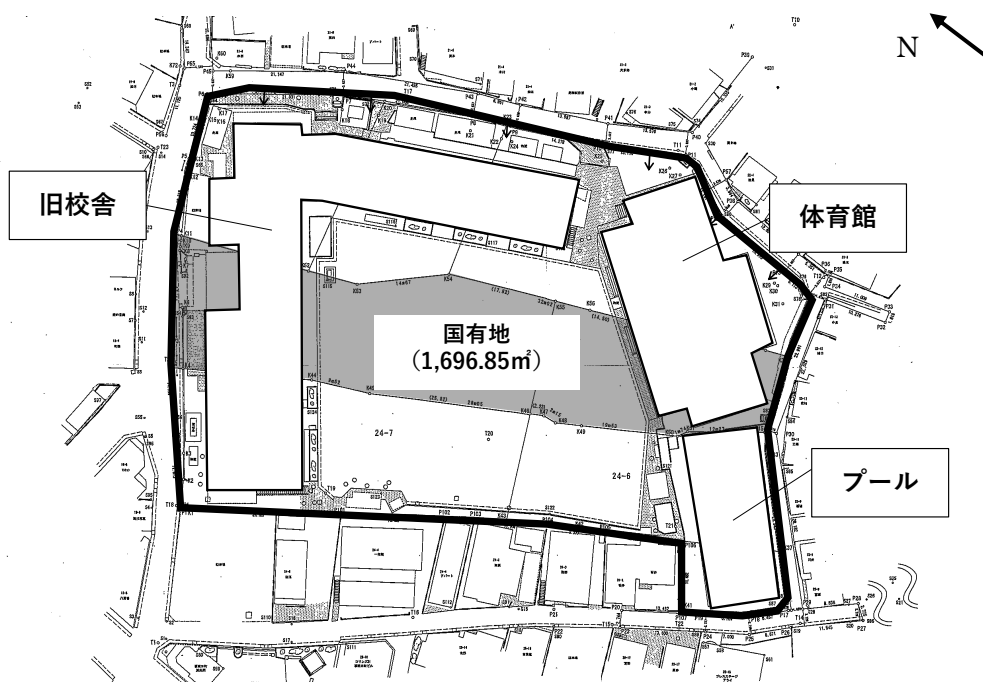
今般、児童福祉法の改正によって特別区でも設置が可能となった児童相談所を、平成 33 年度を目途に旧板橋第三小学校の敷地の一部に設置することとなった。

こうした状況を踏まえ、旧板橋第三小学校の敷地全体の活用に関する基本的な方向性を下記のとおりとする。

記

1 当該地の現況

施設名	旧板橋第三小学校（行政財産）
住居表示	本町 24-1
最寄り駅	都営地下鉄三田線 板橋本町駅徒歩 5 分
用途地域／建蔽率／容積率	準工業地域 第二種特別工業地区 / 60% / 300%
敷地面積／延床面積	6,272.57 m ² （国有地 1,696.85 m ² を含む） / 4,428 m ²
建築年次（築年）／構造	昭和 34～41 年（築 47～54 年） / R C 3 階
耐震状況	西半分は支障なし。東半分はDランク。 体育館は耐震診断未実施
現在の利用状況	公文書館、いたばし総合ボランティアセンター、いたばしBOROニャ子ども絵本館、板橋区保護司会更生保護サポートセンター、防災備蓄倉庫、統計係分室、板橋第三小学校・稲荷台小学校記念室、物品倉庫



敷地の現況

2 基本的な方向性

- ① 敷地の南東側にある体育館・プール等を先行して解体し、旧校舎内の現行機能を維持しつつ、児童相談所等を、平成 33 年度を目途に整備する。敷地周辺の狹隘道路は拡幅する。
- ② 施設整備にあたっては、地域の意見を踏まえ、以下の視点に基づいて検討し、具体的な内容を定めていく。

＜検討にあたっての視点＞

ア 児童相談機能との連携

- ・子育て支援機能

イ 旧校舎暫定利用施設の機能の継承及び充実

- ・いたばし総合ボランティアセンター、板橋区保護司会更生保護サポートセンター、防災備蓄倉庫、板橋第三小・稻荷台小学校記念室 等

ウ 防災機能及び地域コミュニティ活性化機能の向上

- ・広場機能
- ・ボランティア拠点機能（防災・社会福祉・観光等）
- ・集会機能

3 今後の検討スケジュール

	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	34 年度～
解体工事 (体育館・プール)	解体設計	●国有地取得 解体工事				
児童相談所整備	基本計画	基本設計 実施設計		建設工事	●開設	
跡地活用 ➤旧校舎解体 ➤広場・施設 整備	<div> <div> 検討 ➤跡地活用の具体的な内容 及びスケジュール ➤旧校舎内施設の移転先 </div> <div>➡</div> <div> 検討内容に基づき、施設の移転、 旧校舎の解体及び広場・施設の整備等の 具体的な跡地活用を実施 </div> </div>					